

平成28年 8月 データから見た業界の動き

■ 概 況

平成28年8月の山梨県内の全業種のD I値（前年同月）は、売上高マイナス8ポイント、収益状況マイナス12ポイント、景況感マイナス22ポイントと悪化した。

前月比では収益状況は不変、売上高は改善の兆しだが、景況感がマイナス10ポイント急激に悪化した。製造業は前月比の売上高は不変、収益状況、景況感は5ポイント改善した。非製造は前月比売上高は3ポイント改善したが、収益状況は5ポイント悪化、景況感はマイナス20ポイントと大幅に悪化している。

中国をはじめとする海外経済の先行きに対する懸念が深まり年初から半年で15円以上上昇した円高と株価の低迷が続いている。

製造業では、収益、景況感の小幅な改善は見込めるが原材料の値上がりや受注の停滞、輸出の不調により先行きを懸念する報告が寄せられた。

非製造業では、これまで追い風だった中国人観光客の減少、中国人バイヤーによる宝飾品買い付けが高額品から低額品に移行等、円高や中国政府が低迷する国内消費を活性化するため、海外で購入した商品を国内に持ち込む際にかかる関税を、2016年4月から引き上げた影響が出始めた。

また、8月として1962年以来54年ぶりに4個上陸した台風の影響による生鮮食料品の値上がり、建設業を中心に公共工事の減少等、不安要因が増し景況感を悪化させた。

今後、地方の中小・小規模企業でも海外経済の変動の影響を受けやすくなるため、市場ニーズを取り入れた新商品開発や新たな販売チャンネルの開拓、人材育成等、将来を見据えた取り組みが必要である。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	ギフト関係はスーパー、百貨店向けが不調だった。ホテル・レストラン等向けの生食材が伸長し、全体の売上は前年同月比124%だったが、原材料の値上げなどにより利益には繋がらなかった。
食料品（洋菓子製造）	量販店向けOEMの焼き菓子や冷凍ケーキが好調のうえ、自社製品の輸出も回復したが、量販店、専門店向けが不調だったため、全体の売上は104%。
食 料 品（製麺）	猛暑が続き、売上は伸びなかった。
食 料 品（菓子）	消費者からの要望などを取り入れた新商品開発によって、8月は閑散期であるにもかかわらず売上が昨年度同月比135%。
繊維・同製品（織物）	裏地や傘地は低調だが、インテリア関係は高級ホテル関連の受注。

繊維・同製品（アパレル）	婦人服の販売チャンネルが個店、量販店からネット販売にシフトしている。
印刷	不景気感が強い。
窯業・土石（砂利）	骨材需要は低迷。中部横断自動車道のトンネル工事が難航しており開通予定の遅れ等、不安材料が増えている。
窯業・土石（山採石）	中部横断道自動車道関連の特殊製品需要により短期的に増加したが、H28年4～7月の製品出荷量は減少傾向が続いている。また、諸資材の高騰により利益は無いに等しく、設備投資が出来ない状況が続いている。
鉄鋼・金属①	昨年より少し好転したものの、全体的には横ばい状態。
鉄鋼・金属②	厳しい状況が続いている。
一般機器	電子部品の生産、半導体製造装置は好調だが、円高で受注が停滞する事もあるため先行き不透明。全体的には横ばい傾向が続いている。
電気機器①	製品の製造より既存設備の改修が多く、利益率は上がっている。
電気機器②	円高傾向による輸出関連の不調、国際的な政情不安などで国内の中小企業からの受注が減少。

● 非製造業

卸売（ジュエリー）	中国バイヤーの大量購入もなく、購入商品の価格帯も高額から中・低額商品に移行。
小売（青果）	8月は台風により、東北、北海道を中心に農作物に大きな被害が出ていることから品不足による価格上昇の影響により荷動きが安定せず、今後、収益にも影響が出てくると予測。
小売（食肉）	山梨県内における生産者の高齢化により年々生産量が減少しているため、県内の牛・豚肉の仕入価格が全国平均より高値。そのため、地産地消を進める事業者にとっては、厳しい状況。
小売（電機製品）	オリンピック効果もありテレビの売上は若干上昇したが、エアコン、冷蔵庫の売上は大幅な減少となり、業界全体でも対前年で大きく売上が落込み、地域店ベースでは対前年同月比21%減。
小売（石油）	原油価格の上昇に伴い卸売価格も若干上昇したが、小売価格に反映できず収益を圧縮。
宿泊業①	中国人観光客数が減少傾向。
宿泊業②	全般的に訪日外国人が減少傾向だったが、国民体育大会関東ブロック大会が開催されたため高い操業度となった。

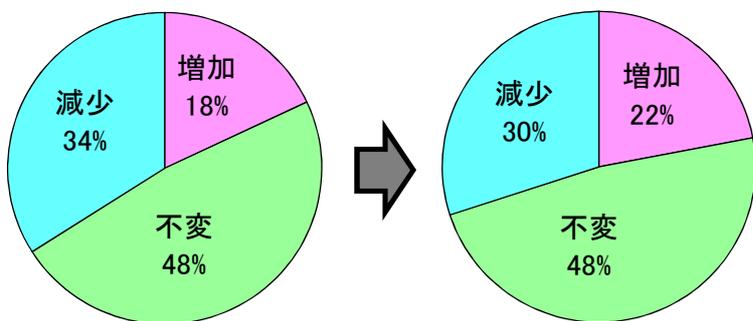
美 容 業	お盆以降入店客数が減少したため、広告掲載やキャンペーン企画などを各店舗で行っているが、消費者マインドが冷え込んでいるため動きが見られない。
廃棄物処理（産廃系）	甲府市環境衛生センターの廃止・移転に伴い、新設される境川センターへのゴミの混載搬入を防ぐため、各自治体の収集車に色分けした「たすき」表示をするよう通達があった。自治体ごとに色分けしたタスキ表示された車両では他の自治体で使用できないため、経営悪化を招く要因となる。
警 備 業	夏期の各種イベントや公共工事の前倒し発注等により警備量が多く、警備料金の改定により警備業界の景気は好転。しかし、警備員不足と警備員の高齢化により受注に答えられない状況が続いている。
建設業（総合）	8月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は3%、請負金額は44%減少。8月までの累計では、件数で3%、請負金額では5%増加。
建設業（型枠）	8月に入り公共民間工事ともに多少動きが出てきたが、平年より動きが鈍い。9月以降発注はありそうだが、一昨年に比べ大幅に少なく不安を抱えている組合員企業が多い。
建設業（鉄構）	会社の規模別で受注量の格差が出始めている。
設備工事（電気工事）	仕事量の減少に伴い売上高も減少。東京オリンピック需要の仕事がある首都圏へ出稼ぎしている事業者が増加。
設備工事（管設備）	仕事量の減少により収益が悪化。また、配管工等の職人や経営者の高齢化により技能者確保が難しい。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2015/8	2016/7	2016/8	2015/8	2016/7	2016/8	2015/8	2016/7	2016/8
売 上 高	-20	-10	-10	-13	-10	-7	-16	-10	-8
収 益 状 況	-15	-20	-15	10	-7	-10	0	-12	-12
景 況 感	-15	-20	-15	-17	-7	-27	-16	-12	-22

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売上高（前年同月比）

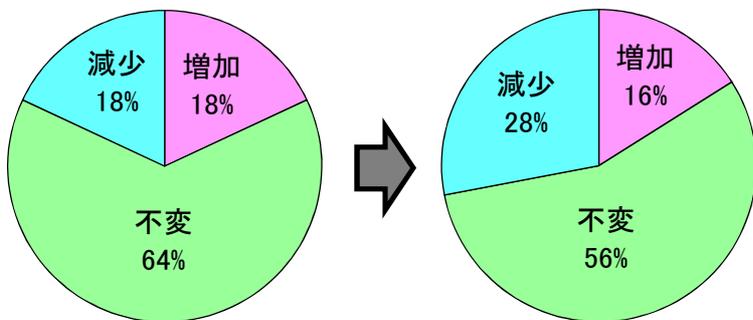


平成27年8月

平成28年8月

- ・ D I 値 ▲ 8（前年同月比+ 8）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲10(前年同月比+10)
 - 非製造業 ▲ 7(前年同月比+ 6)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 不変
 - 非製造業 3ポイント改善

収益状況（前年同月比）

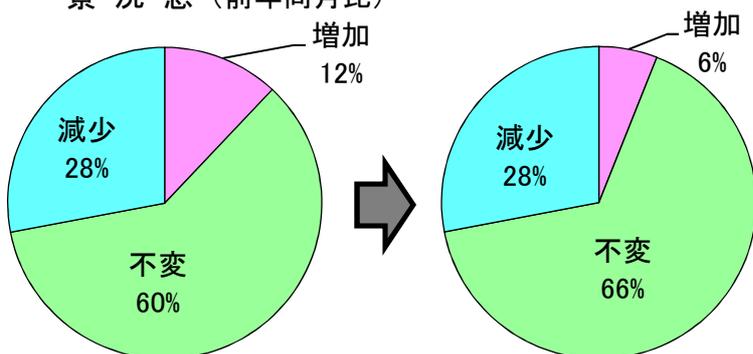


平成27年8月

平成28年8月

- ・ D I 値 ▲12（前年同月比▲12）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲15(前年同月比± 0)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲20)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 5ポイント改善
 - 非製造業 3ポイント悪化

景況感（前年同月比）



平成27年8月

平成28年8月

- ・ D I 値 ▲22（前年同月比▲ 6）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲15(前年同月比± 0)
 - 非製造業 ▲27(前年同月比▲10)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 5ポイント改善
 - 非製造業 20ポイント悪化